

スノーデントシリーズ新品種紹介

「スノーデント125」,「王夏」(おうか)

雪印種苗(株) 宮崎研究農場

木下 剛 仁

1 はじめに

府県のトウモロコシの作況は、2年連続して各地域で概ね良好でした。過去2か年のトウモロコシの収穫量と作況指数(表1)をみると、台風が多かった平成11年に比べて九州での作況が良く、栽培農家にとりましては良い年であったと思われます。この理由は、台風の直接的被害が無かった事で、特に常襲地帯とされる中国・九州地域ではその影響が明確に現れています。また、ここ最近の異常気象も少なからず、影響しているのでしょうか?

今回は、今春から販売されるスノーデント2品種の品種特性と栽培利用についてご紹介致します。

2 スノーデント125

(DK740, 写真1)

スノーデント125は長年皆様にご愛顧頂いたスノーデント125Z(G4742)の後継品種として、今春から販売が開始されます。スノーデント125の最大の特徴は、スノーデント125Zの耐倒伏性が強化

表1 10a当たり収量と作況指数 (青刈外モロコシ)

地域	平成11年		平成12年		平成13年	
	収量 kg	指数 %	収量 kg	指数 %	収量 kg	指数 %
都府県	4,830	91	5,550	104	5,610	104
東北	4,570	97	4,750	101	4,850	103
関東・東山	5,840	102	5,950	104	5,860	101
東海	5,370	102	5,500	104	5,300	98
中国	4,080	96	4,540	107	4,580	107
九州	4,240	75*	5,970	106	6,110	107

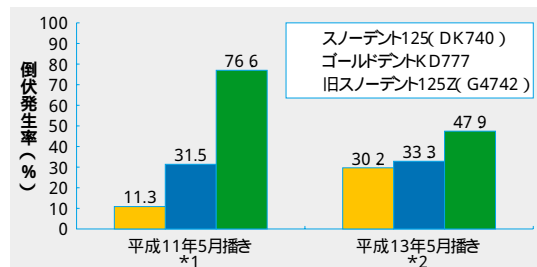
(出典:農林水産省統計情報部)

*:平成11年は九州に7月から5個の台風が上陸又は接近し、大きな被害が発生した。

された点にあります(図1)。特に、トウモロコシの出穂期(この時期はトウモロコシの生育ステージの中で、1番倒伏には弱いとされています)での耐倒伏性が、ゴールドデントKD777,スノーデント125Zより優れております。ここ数年の気象状況からは、台風の襲来時期が不確定ですが、耐倒伏性が改善されましたので、安心して使える品種になっております。また、収量性にも優れており、



写真1 スノーデント125の草姿



(当社 宮崎研究農場) 数値は倒伏と折損の合計値
*1:平成11年7月26日台風5号(最大瞬間風速26.7m/秒)による影響(出穂期)
*2:平成13年8月20日台風11号(最大瞬間風速21.2m/秒)による影響(黄熟期)

図1 スノーデント125(DK740)の耐倒伏性

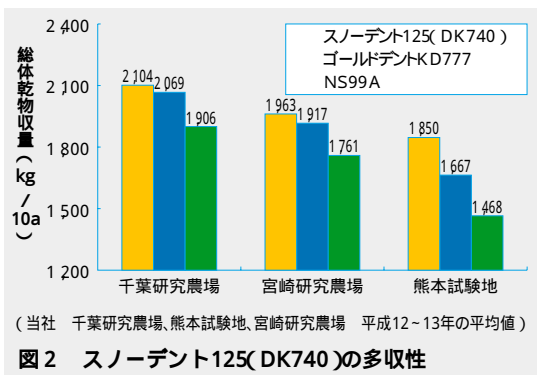


図2 スノーデント125(DK740)の多収性

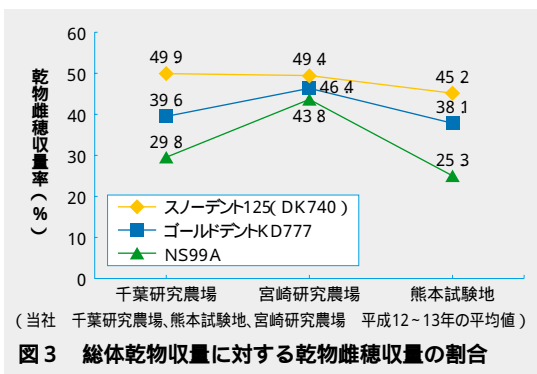


図3 総体乾物収量に対する乾物雌穂収量の割合

ゴールドデントKD777, NS99Aより多収です(図2)。特に、大型雌穂で総体乾物収量に対する雌穂収量の割合が高く(図3, 写真2)、高泌乳牛のサイレージに最適な品種です。

耐病性はごま葉枯病抵抗性が良好であり(図4)、常発地帯でも作付けが可能です。栽培ポイントは、西南暖地では5月中旬、関東平野部・中部地域では5月下旬まで播種可能ですが、4月上旬～中旬播きの早播き栽培の方が安定して多収です。また、九州地域での5月下旬以降の播種は南方さび病の発生が予想されるので、その場合は耐病性が強化され、適応性が広いスノーデント「盛夏」を推奨します。



写真2 スノーデント125 雌穂

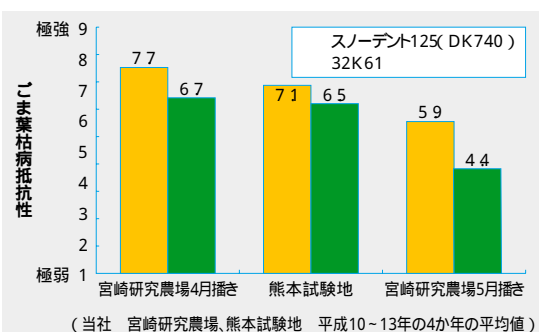


図4 スノーデント125(DK740)のごま葉枯病抵抗性

スノーデント125を利用した作付け体系は表2に示したとおりです。年平均気温で3地域に区分(図5)すると、B地域ではライムギ(春一番)と組み合わせる事ができます。C・D地域ではイタリアン(ハナミワセ, タチワセ, タチマサリ, タチムシャ, ドライアン)との組み合わせ、または極早生エンバク(スーパーハヤテ)との体系が可能です。E地域では、ソルガムとの混播利用(高糖分ソルゴ)やエンバクとイタリアンの混

表2 スノーデント125の作付体系例

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月	作付体系
B				●		●				■			トウモロコシ体系
		■									■	■	ライムギとの組み合わせ
C・D				●	●				■	■	■		エンバクとの組み合わせ
				●	●	●			■	■	■	●	イタリアンとの組み合わせ
E				●	●	●			■	■	■	■	ソルガムとの混播
				●	●	●			■	■	■	■	エンバクとの組み合わせ
				●	●	●			■	■	■	■	イタリアン単播又はイタリアンとエンバク混播

● 播種期 ■ 生育期 ■ 収穫期

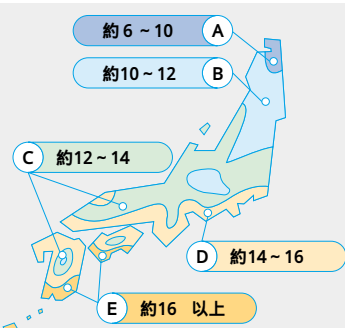


図5 年平均気温による地域区分略図



写真3 スノーデント王夏の草姿

播（早立御膳）体系で年間多収がねらえます。

栽培方法

● 播種期

西南暖地：4月上旬～5月中旬

関東平野部・中部地域：4月中旬～5月下旬

東北南部：4月下旬～6月上旬

● 栽植本数

6,000～6,500本 / 10a

表3 スノーデント王夏の成績

No.	品種・系統名	販売元	稈長		Brix 糖度	ごま 葉枯	南方 さび	根腐病 %	乾物収量					
			7月播き	8月播き					給体 kg / 10a	比 %	茎葉 kg / 10a	比 %	雌穂 kg / 10a	比 %
			cm	cm	9~1	9~1								
1	スノーデント王夏	雪印	240	225	6.2	8.3	5.9	0.0	1,184	109	733	117	451	98
2	3470	バイオニア	210	205	3.7	7.9	6.5	2.1	1,082	100	624	100	458	100
3	30 D 44	バイオニア	239	225	2.6	7.4	3.8	1.6	1,124	104	614	98	510	111
4	スノーデント盛夏	雪印	215	202	4.3	8.2	6.4	4.7	1,077	100	608	98	468	102
5	ゴールドデントKD772スーパー	カネコ	221	221	3.0	7.3	3.2	15.1	877	81	553	89	324	71

：対照品種 評点は9：極強～1：極弱

注）＊：8月播きの稈長は平成13年のデータ

（当社 宮崎研究農場 7月播き 平成11～13年の3か年の平均値）



写真4 スノーデント王夏 耐病性極強

3 スノーデント「王夏」

（おうか：S H9904，写真3）

遅播き・2期作用品種で主に西南暖地での7～8月播きに利用できる品種です。2年前から販売したスノーデント「盛夏」より7～8月播きで多収で、他社の遅播き・2期作用品種と比較しても長稈で収量性、特に茎葉収量に優れております。また、7月播きで問題となる南方さび病抵抗性も30D44やゴールドデントKD772スーパーより強く、病気の心配もありません（表3，写真4）。また、茎中のBrix糖度が遅播き・2期作用品種の中では比較的高く、サイレージ発酵が良く良質のサイレージが期待できます。

遅播き・2期作栽培では台風の影響を一番受けやすく、倒伏の被害が心配されます。スノーデント王夏は根張りりと稈が強く、遅播き・2期作用品種の中では最強の耐倒伏性です（図6，写真5）。

倒伏には2種類のタイプがあり、根元から転ぶ倒伏と茎が折れる折損です。図6の結果で明らかに、倒伏のタイプは品種による差が明確で3470や3081は倒伏30D44は折損するタイプに区別されます。スノーデント王夏は風速30m / 秒程度の台風でも、倒伏、折損の割合が少なく、7～8月でも安心して作付けできます。



写真5 スノーデント王夏 耐倒伏性最強

スノーデント王夏を利用した作付け体系は表4のとおりです。早生タイプのトウモロコシ（スノーデント110, 115）と組み合わせた高TDNがねらえる2期作体系とイタリアン（タチムシャ, ドライアン, マンモスB, エース）2回利用体系となります。

栽培方法

- 播種期
西南暖地：7月上旬～8月上旬迄
- 栽植本数
6,000～6,500本/10a

4 おわりに

過去2か年は、台風による影響が少なくトウモロコシ栽培にとっては最良な年でありました。しかし、今年はどうでしょうか？3年連続で台風の襲来が無いという事は、非常に確率が低いと私自身は考えます。

今回ご紹介した2品種は、共に耐倒伏性が強いのが特徴で、台風の影響を受けた時にその品種力を最大限に発揮します。今年の品種選定の参考にして頂き、皆様の稔り多き飼料生産のために、この2品種が少しでも貢献できればと考えております。

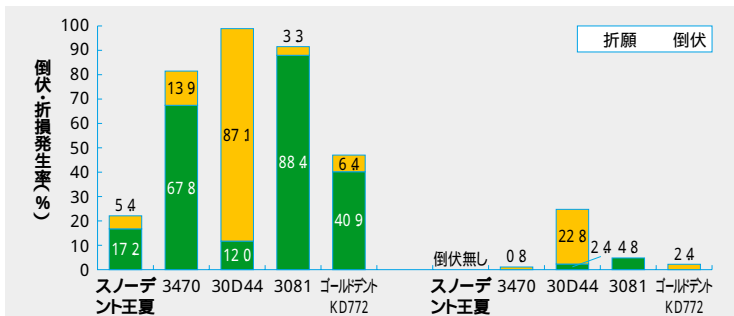


図6 スノーデント王夏(おうか)の耐倒伏性

表4 スノーデント王夏(おうか)の作付体系例

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月	作付体系
西南暖地				●●			●●	●●					トウモロコシ2期作体系
	イタリアン(タチムシャ, ドライアン, マンモスB, エース)			スノーデント110, 115			スノーデント王夏	スノーデント王夏					イタリアン2回利用体系

●●●●● 播種期 ——— 生育期 ■■■■■ 収穫期

もうかる酪農を実現しましょう! これからのエサをもっとお美味しく



現場でも、食い込みの良いサイレージが安定的にできています。

図は現場でのアクレモを使用したサイレージと無添加サイレージのpHの比較データですが、各水分層ともアクレモを使用すると、平均のpH(横棒グラフ)が低く改善されています。
・パツキ具合も少なく(線の幅が狭く、pHが低い方に)改善されています。
注: 昨年のデータとの違いは、新しいデータに更新されている点です)

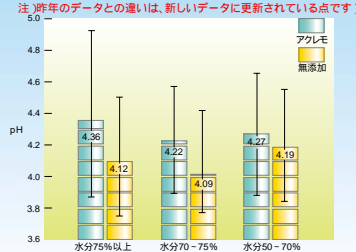


図 現場牧草細切サイレージ(北海道585地点)の平均pH

食い込みの良いアクレモサイレージの給与で、経営が改善される。

図で、アクレモ使用後乳量が増加したコウザーの事例
・アクレモを使い始めてから平均乳量が900kgアップ1頭あたり63,000円の収入増(乳価70円/kgで計算)
・アクレモのコストは8,800円(30kg/日サイレージを給与したとして)
約54,000円/頭の利益改善

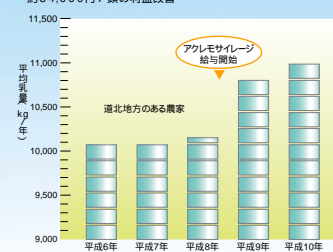


図 アクレモを使用したからの乳量推移